

移動式クレーン作業計画書

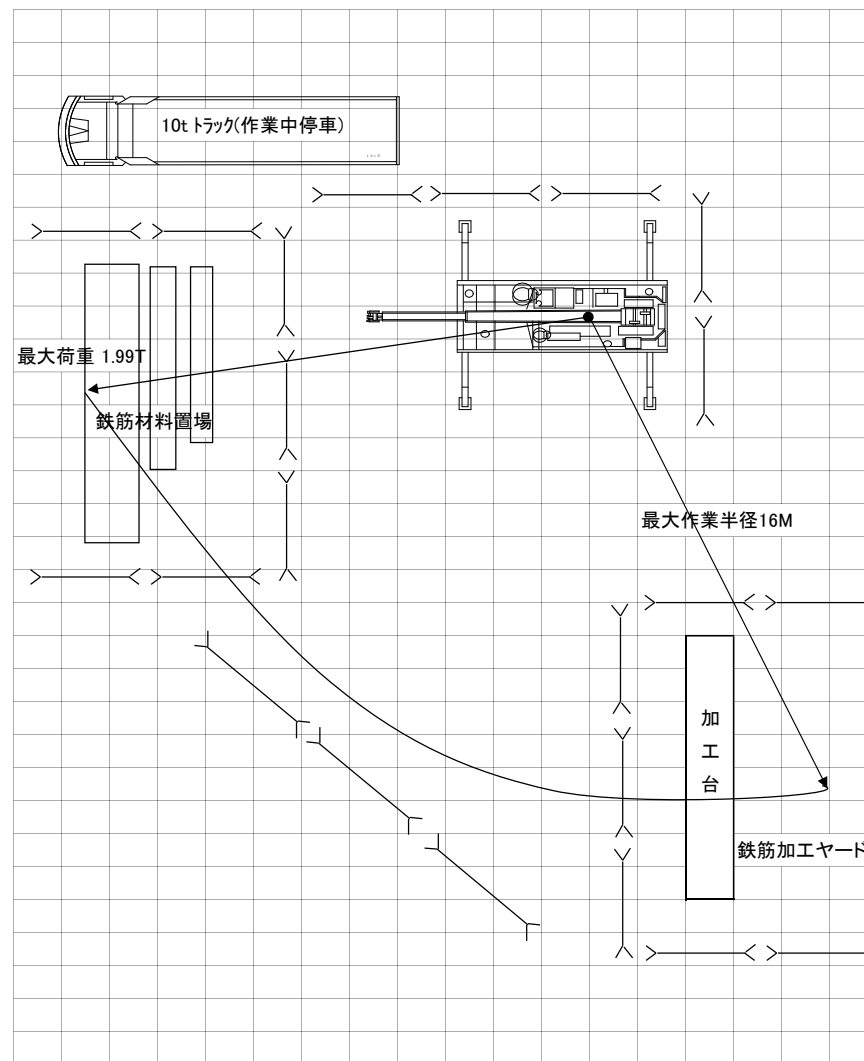
(クレーン等安全規則 第66条の2)

令和2年 9月11日

作業所名	大村作業所		事業者	〇〇建設工事共同企業体		作成者	池田太郎		
使用機械	型式	加藤 NK-250-V2		最大作業半径時の定格荷重	24m 1.25 t (ツク、吊具等の重量除く)				
	最大吊上げ荷重	25 t							
	最大地上揚程	31.5 m							
作業期間	令和2年9月12日 ~ 令和2年9月30日								
人員配置	作業指揮者	諫早次郎	会社名	△△鉄筋	運転者	長崎五郎	会社名	□□重機	
	合図者	西三郎	会社名	△△鉄筋	監視人	—	会社名	—	
	玉掛け	北四郎	会社名	△△鉄筋	玉掛け者	川棚六郎	会社名	△△鉄筋	
作業方法	吊り荷重	名称・形状・寸法 鉄筋(φ13~25、L=5.5m~8m)							
		重量・員数 最大吊り荷重 1.990kg、10束							
	玉掛け	玉掛けワイヤーロープ等 <u>ワイヤーロープ</u> (16mm)・ナイロンスリング・チェーン・その他()							
		玉掛け方法 (<u>2</u>)点吊・目通し吊()							
転倒防止 および 危険防止	合図の方法	<u>手</u> ・旗・笛・無線・その他()							
		<u>敷鉄板</u> ・敷き角・敷き板	<u>要</u> ・不要	水平架台	サンドル	要・ <u>不要</u>			
		上部旋回体範囲内立入禁止措置	<u>バリケード</u> その他()表示						
		クローラークレーン移動範囲内立入禁止措置	<u>バリケード</u> その他()表示						
		法肩崩壊防止対策	<u>該当無し</u> ・有り()						
		地下埋設物防護対策	<u>該当無し</u> ・有り()						
作業内容	東側 鉄筋材料置場から加工場への移動 (距離16m)								
安全対策	・介錯ロープを必ず使用し、荷の横振れを防ぐ。								
	・材料は台木に荷下しし、無理にワイヤーを引き抜かない。								
元方指導事項	★吊り荷の下への立入禁止措置								
	★アウトリガーは最大張出し(中間張出しで使用する場合は、張り出しの性能で作業計画する)								
	★安全装置の機能を停止させた運転は禁止 ★定格荷重の厳守								
・玉掛けワイヤーは支給の認定品を使用すること!									

配置図(作業場所全体を示す平面図、必要に応じて側面図)

図示する事項
工作物・隣接する建物・道路等・移動式クレーンの配置・移動式クレーンの移動範囲・旋回方向・荷の積卸し位置・障害物(架空線等)・敷鉄板等
合図者・監視人・立入禁止範囲・安全通路・その他



統括安全衛生責任者	元方安全衛生管理者	担当者